

HITACHI

# 地域別市場環境と 見通しについて

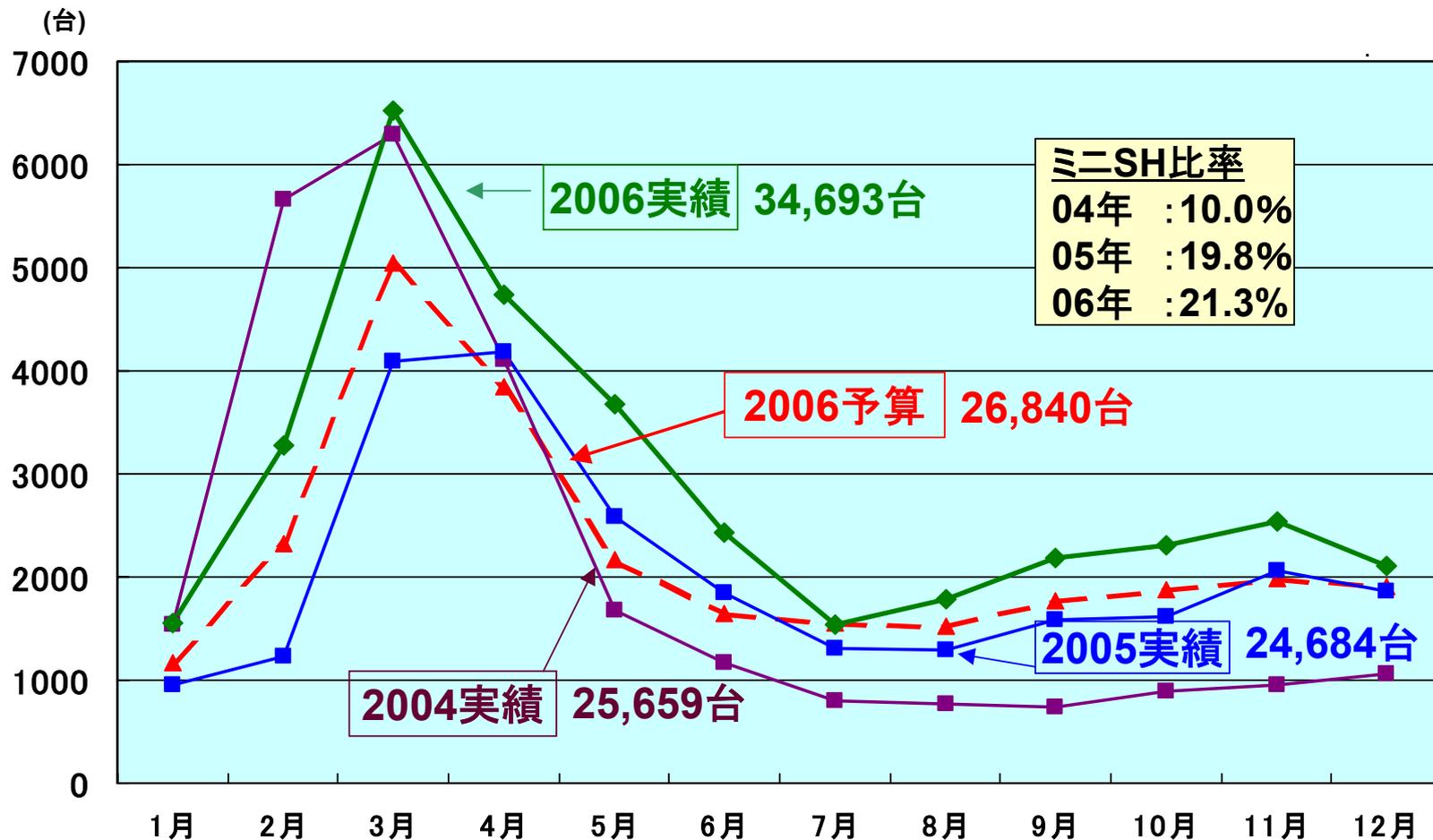


日立建機株式会社

執行役副社長  
中 浦 泰 彦

需要推移(油圧SH+ミニSH)

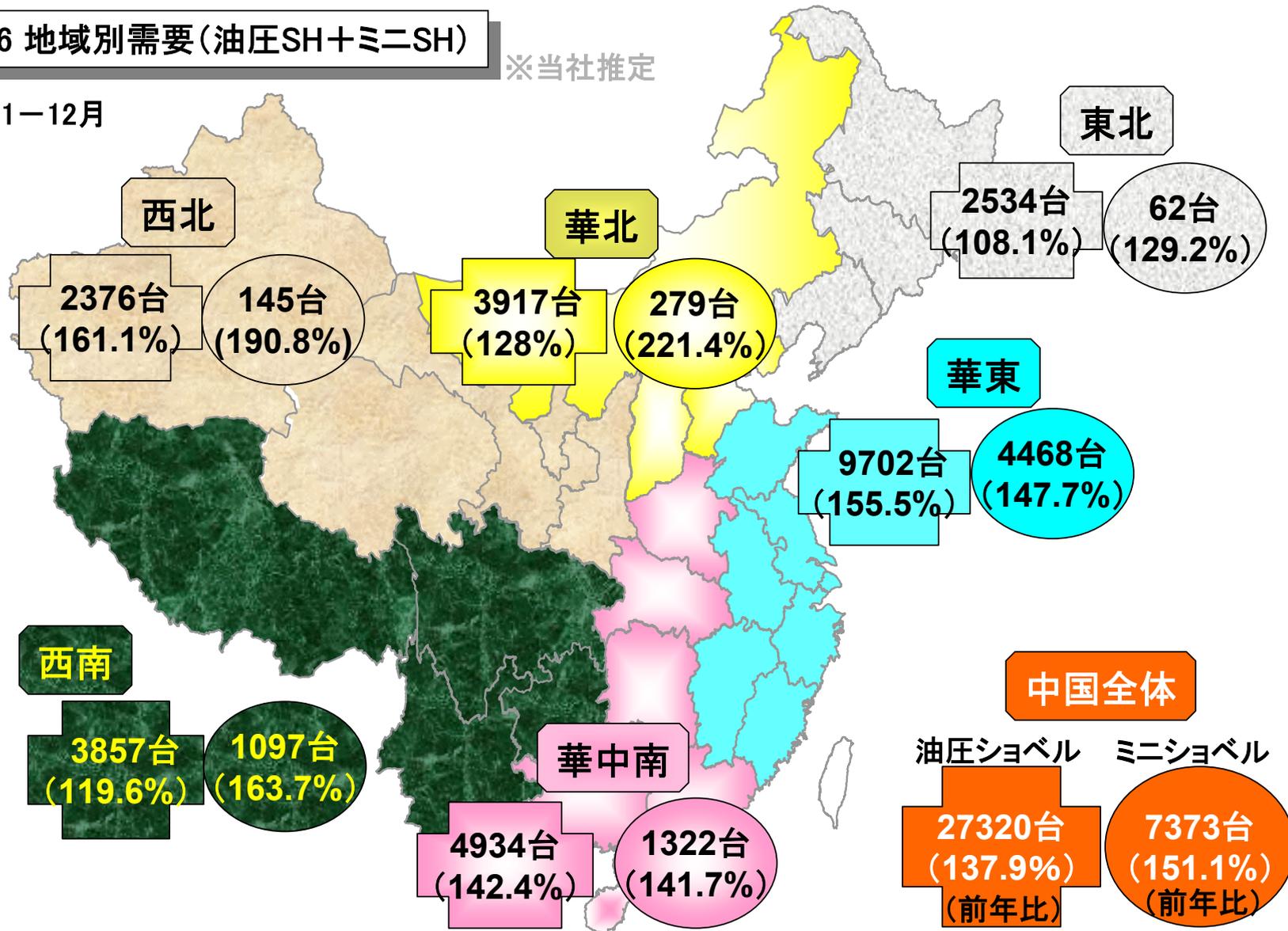
※当社推定



'06 地域別需要(油圧SH+ミニSH)

※当社推定

\*1-12月



① TierⅢ対応機の導入

他社に先駆け3型油圧ショベルの投入

ZX200-3/240-3 06年11月導入済



② 鉱山部の新設(上海、北京)

永立建機にてEX1200の在庫販売開始

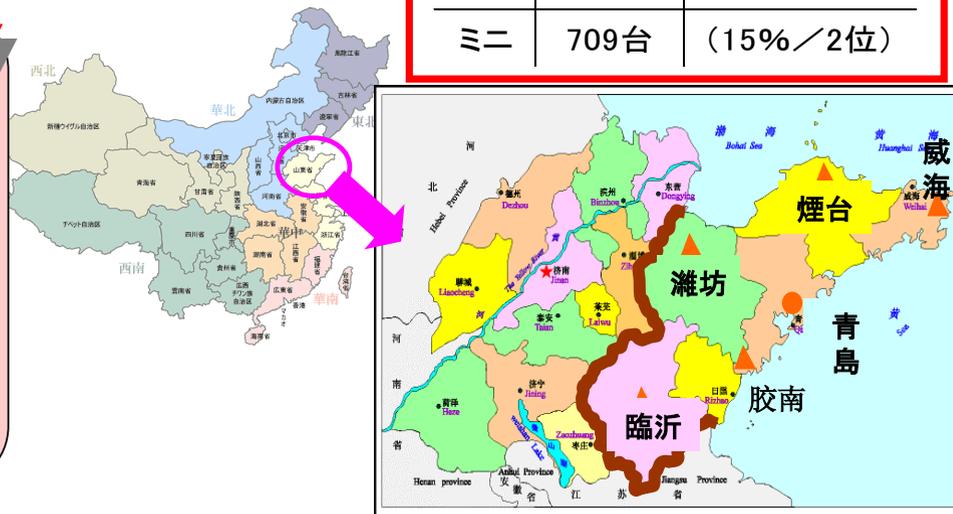
③ 小売ビジネスへの展開

青島誠日建機有限公司

設立: 2006年10月30日  
 住所: 山東省青島市  
 資本金: 2,000万人民元 (約3億円)  
 人員: 92名  
 支店数: 5  
 事業内容: 建設機械/フォークリフト/クレーン  
 レンタル、サービス等

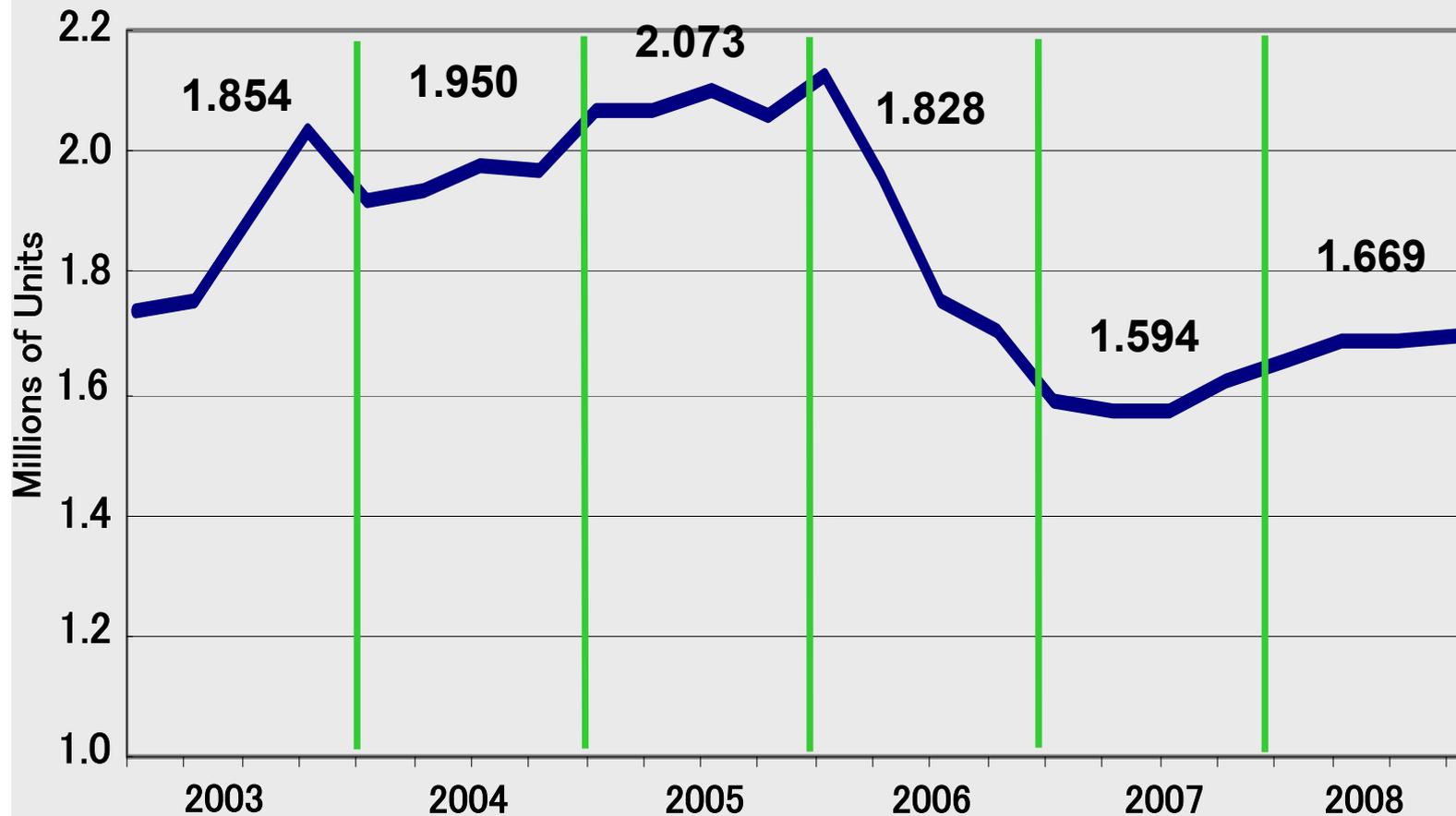
山東省市場(05年実績)

需要		需要構成比
油圧	2,318台	(12%/1位)
ミニ	709台	(15%/2位)



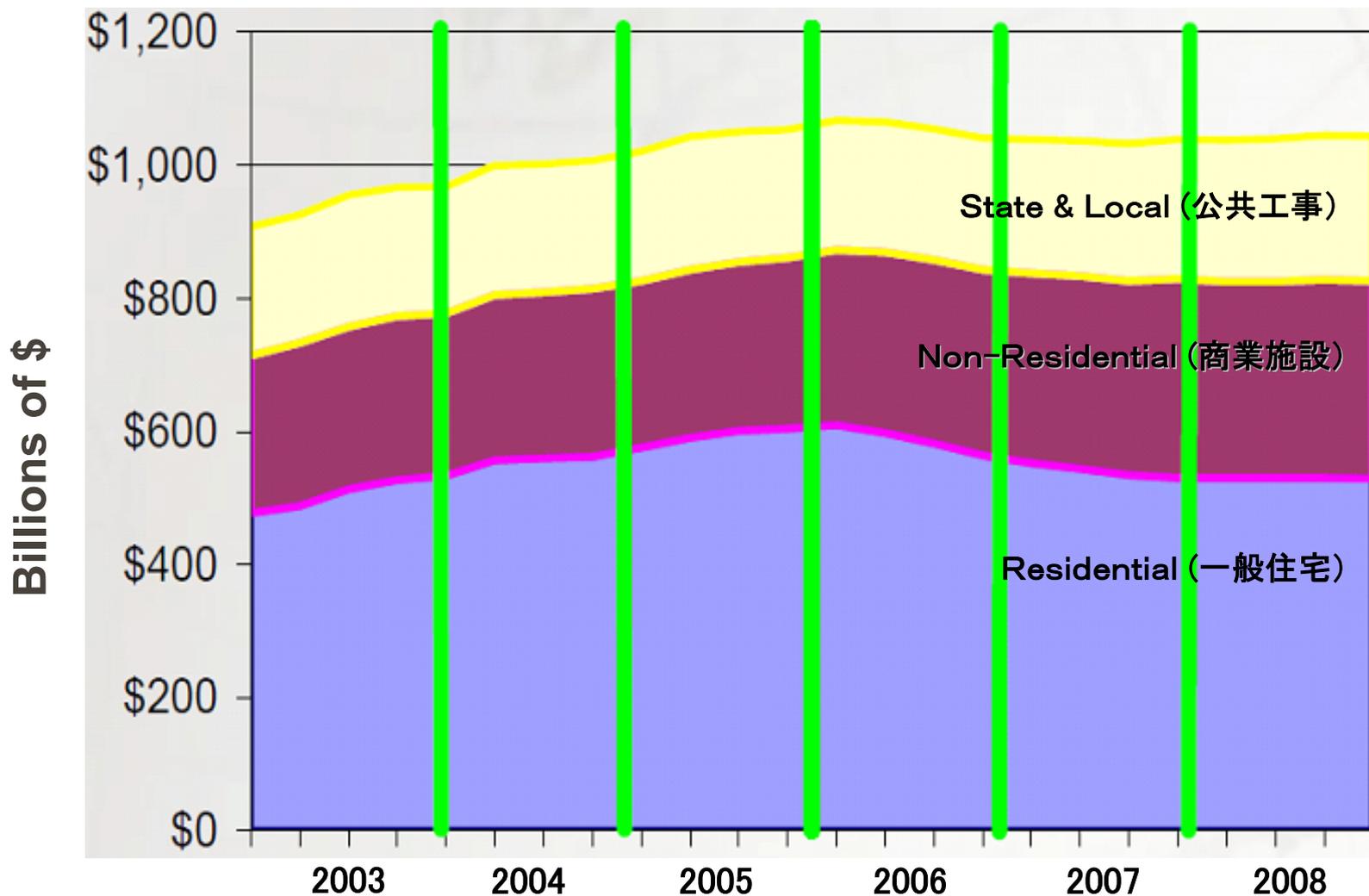
住宅着工件数

※当社推定 数値は年平均



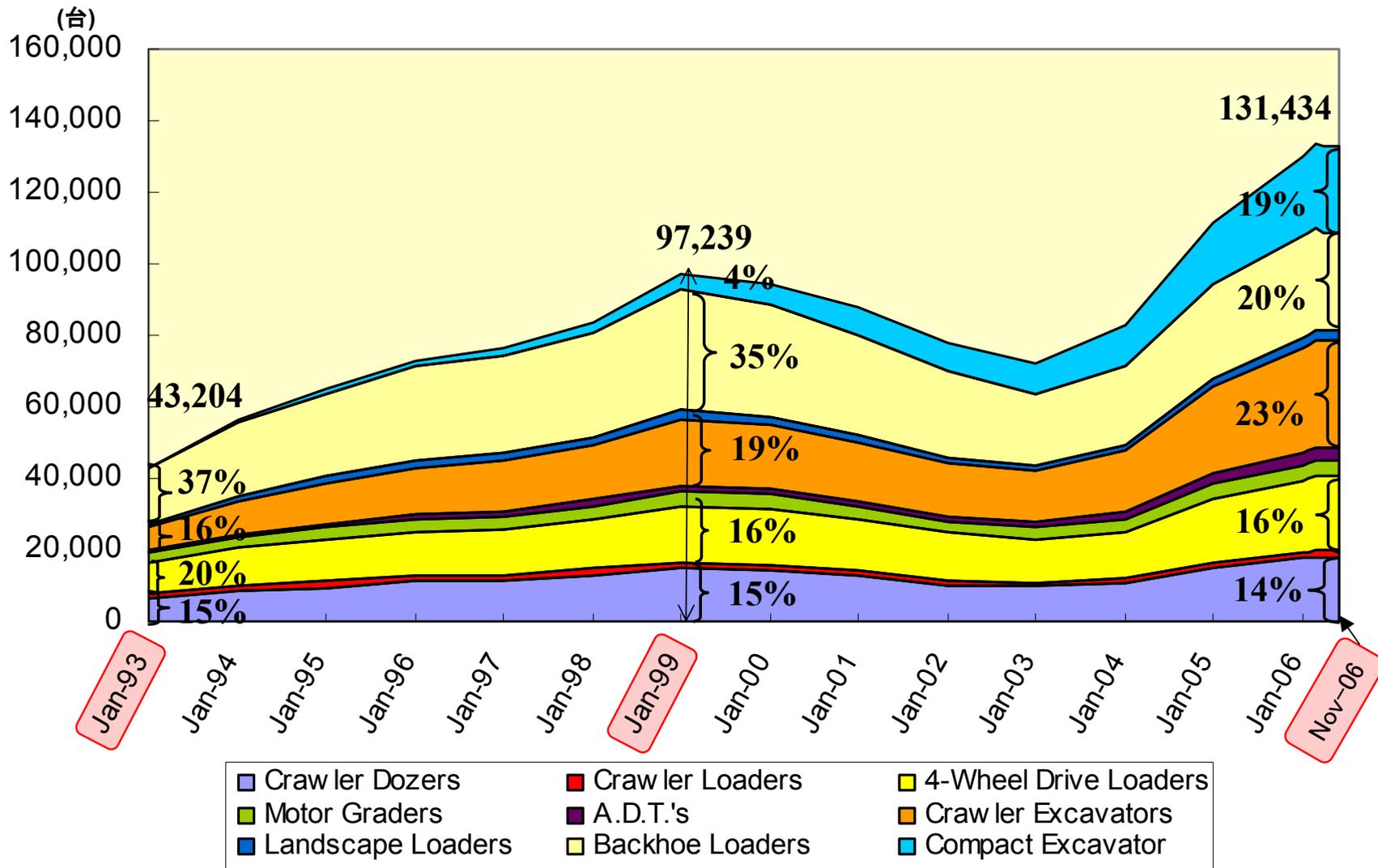
建設投資推移

※当社推定



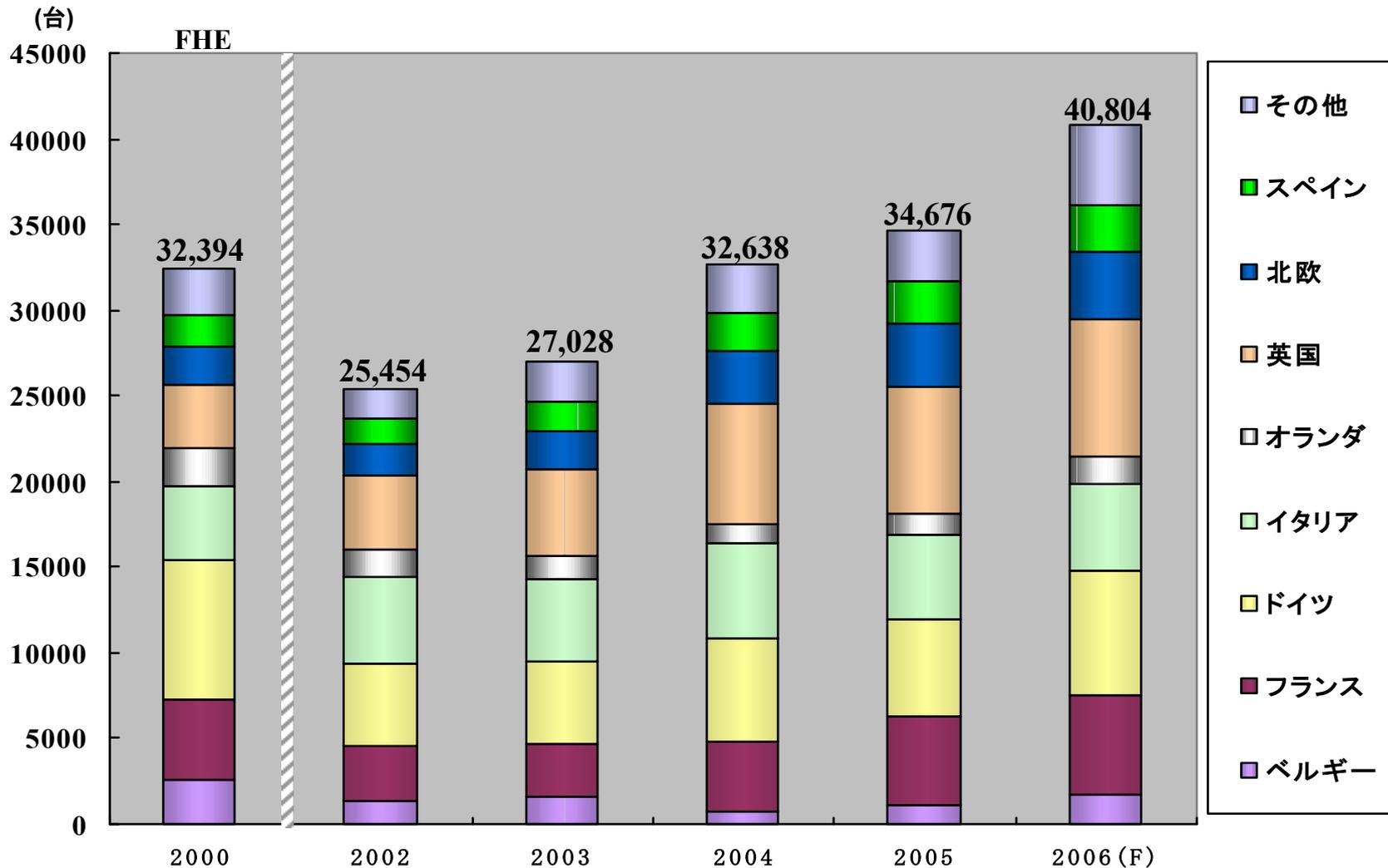
需要構成比推移(主要建機)

※当社推定

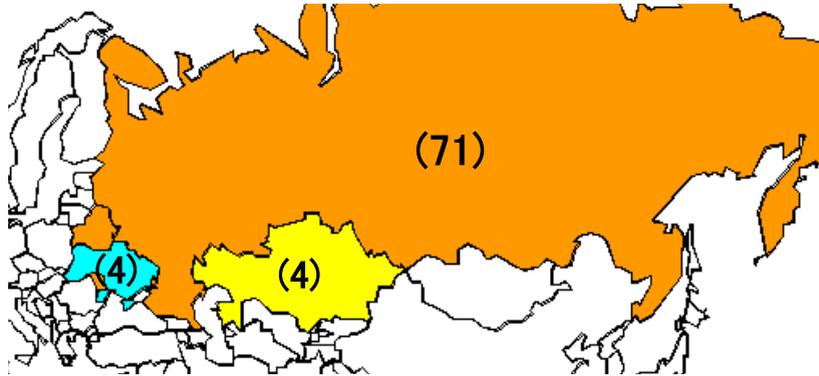


西欧 需要推移(油圧SH)

※当社推定

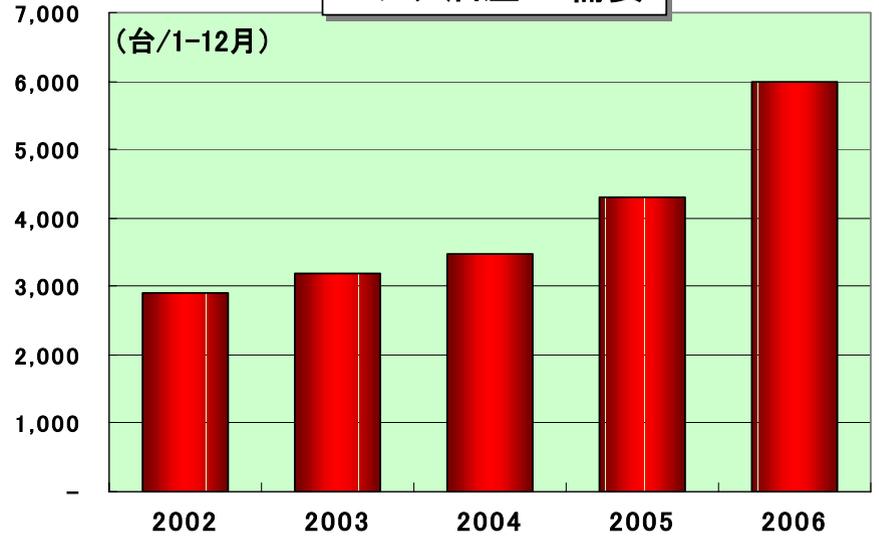


ロシアに次ぎ、CISの主要需要国  
カザフスタン、ウクライナでNo.1を目指す



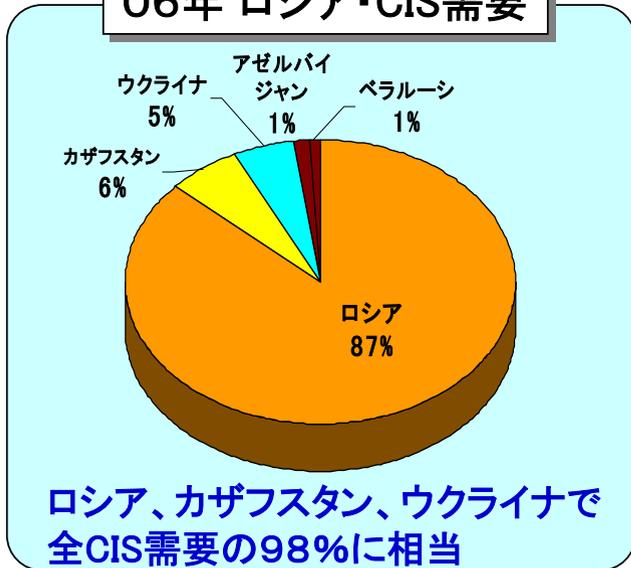
(図中括弧内数字は各代理店保有拠点数-'06年末現在)

ロシア油圧SH需要



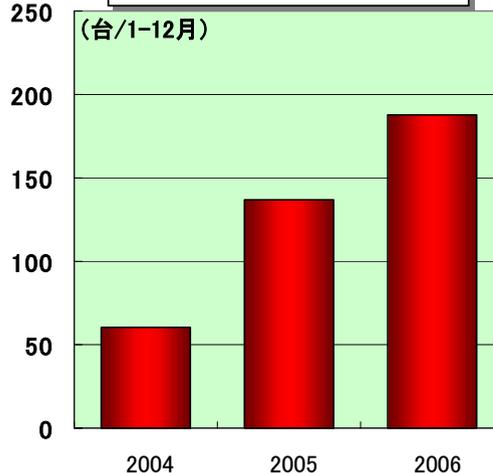
(当社調べ:現地産機を含む)

06年 ロシア・CIS需要



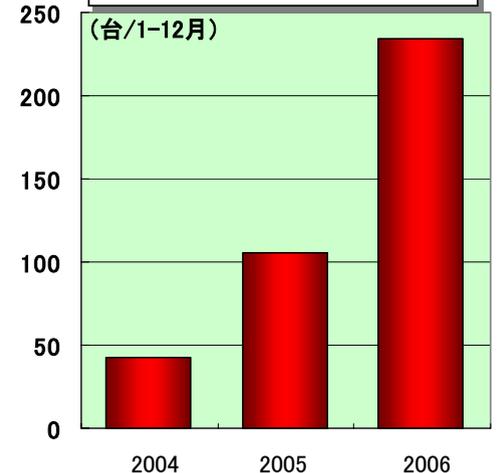
ロシア、カザフスタン、ウクライナで  
全CIS需要の98%に相当

ウクライナ油圧SH需要



(当社調べ:現地産機を含まず)

カザフスタン油圧SH需要



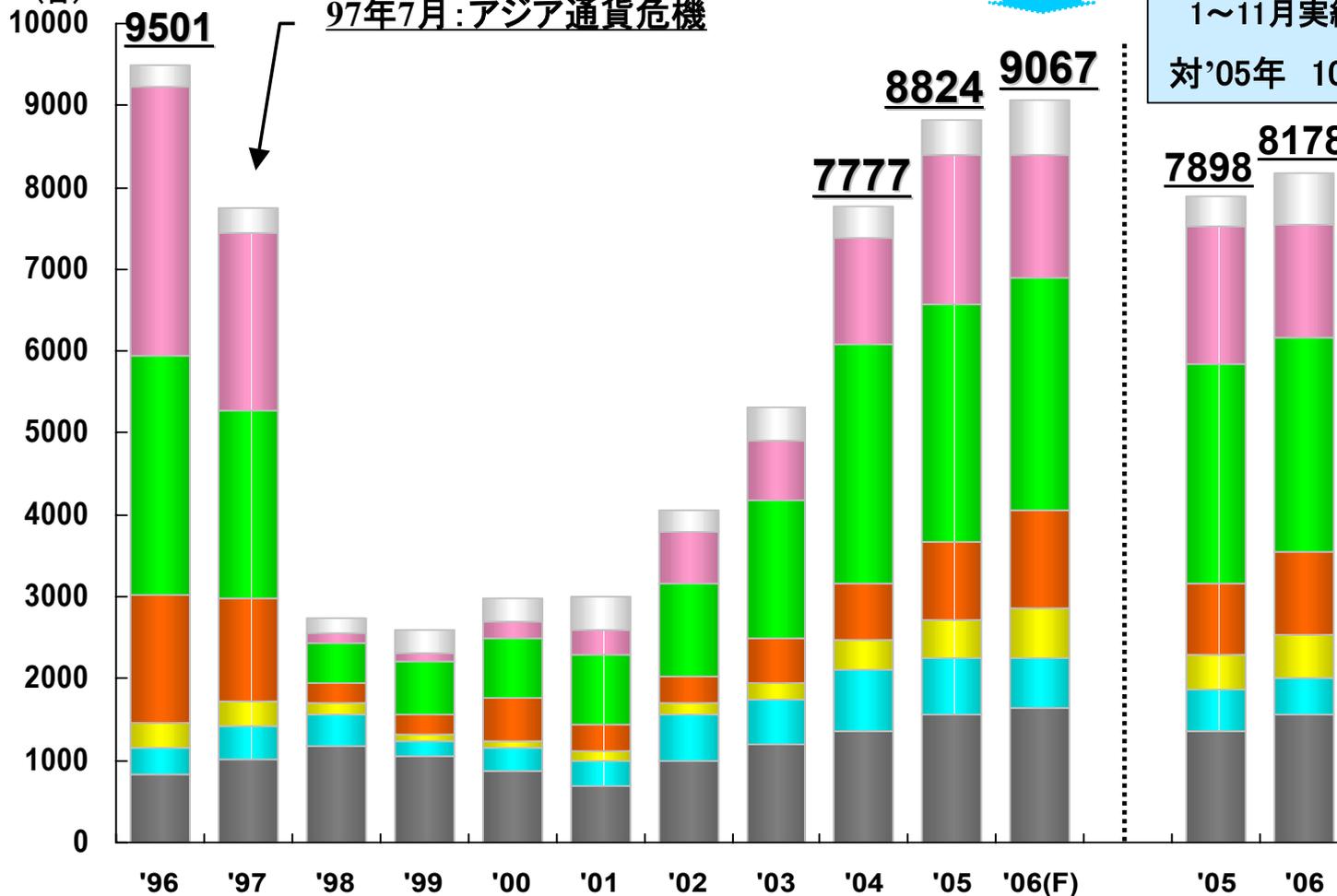
(当社調べ:現地産機を含まず)

## 需要推移(油圧SH)

※当社推定  
 ※マイニング除く、韓国・インド除く

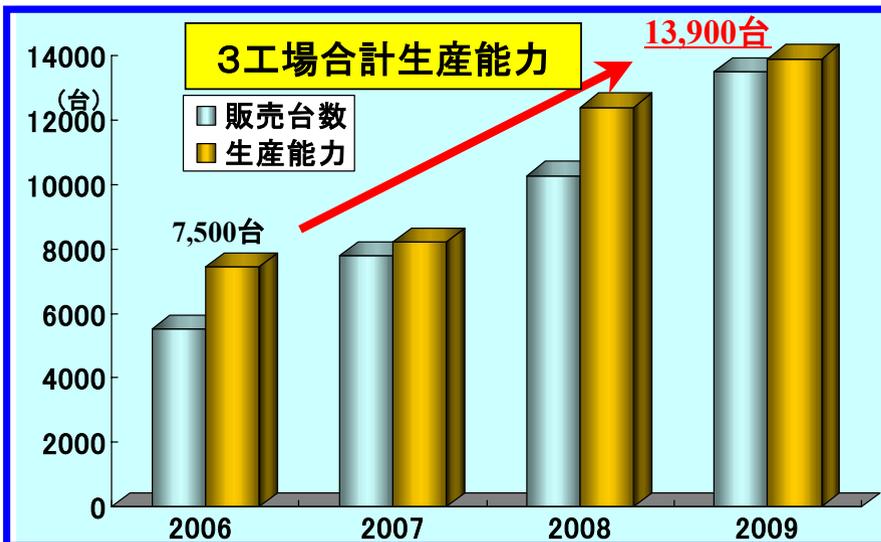
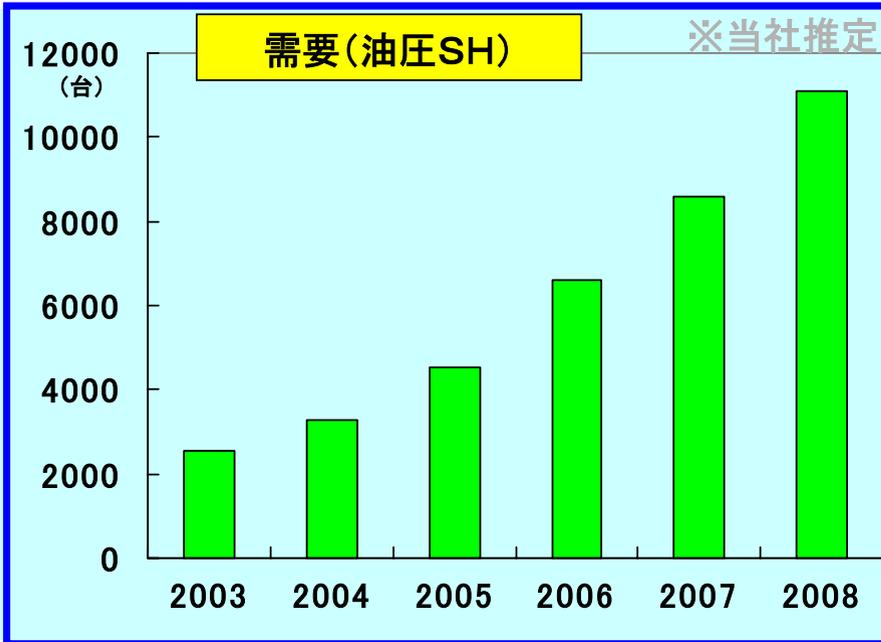
対'96年 96%  
 対'05年 103%

\* 1-12月  
 (台)



1~11月実績  
 対'05年 104%





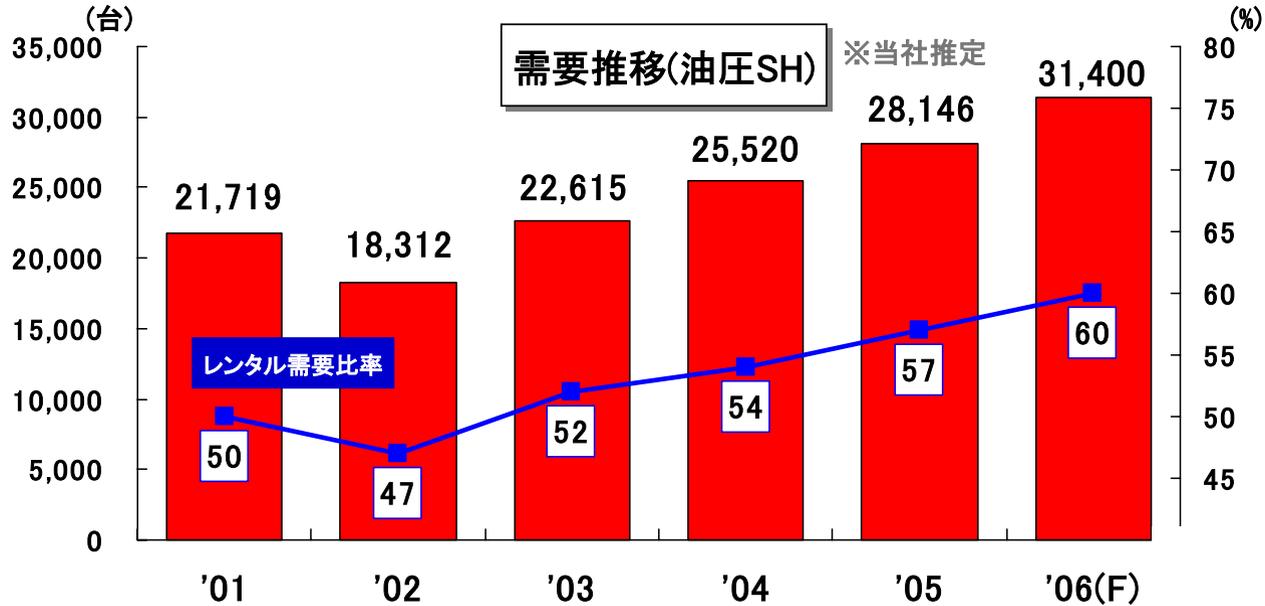
## 製品展開計画

### ① 油圧ショベル、最新モデルの投入

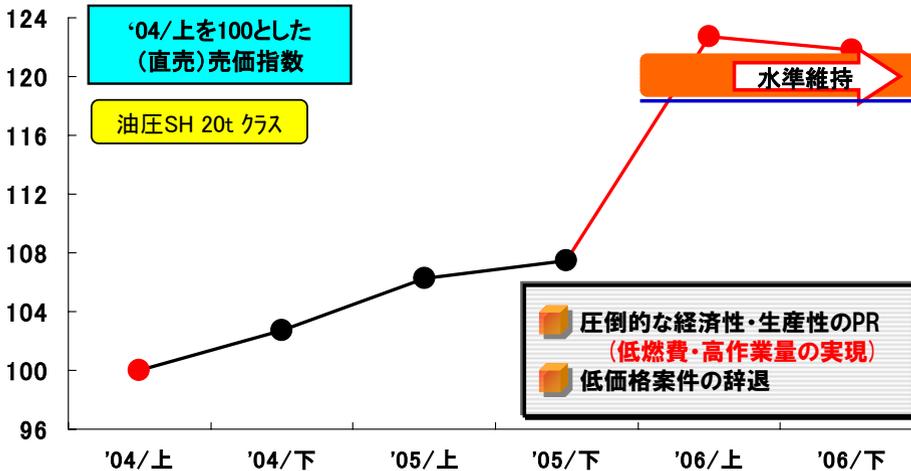
- 04年 EXシリーズ 10機種
- EXの後継機であるZXシリーズを導入
- 05年 ZXシリーズ 40tクラス
- 06年 ZXシリーズ 12t、60tクラス
- 07年 ZXシリーズ 20tクラス
- 08年 ZXシリーズ 30tクラス

### ② その他製品

- ・バックホーローダ
- ・ホイールローダ
- ・クレーン
- ・RDT
- ・道路機械
- ・モーターグレーダ



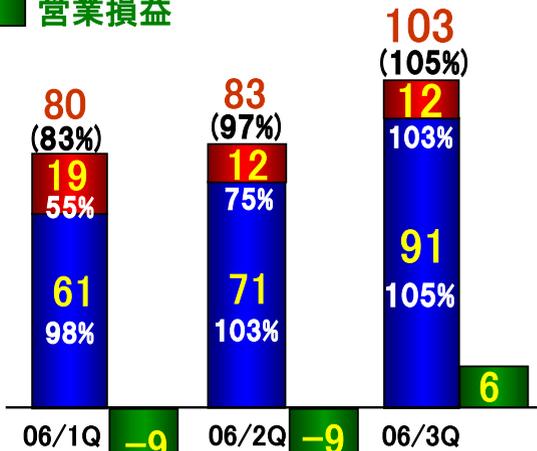
売価推移



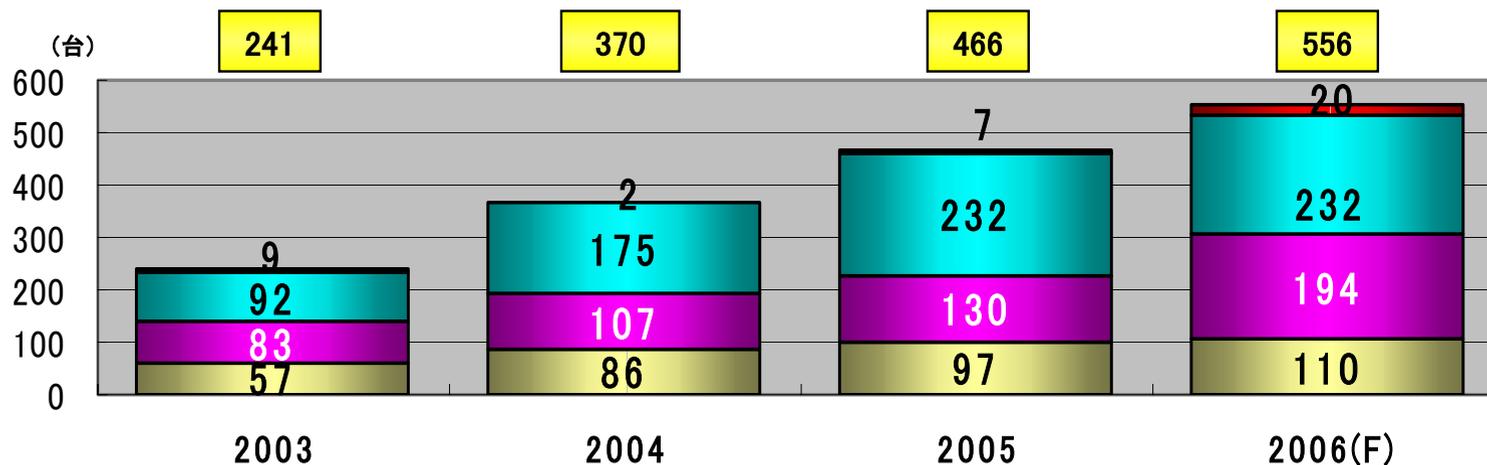
単位: 億円  
( ) 対前年比%

■ レンタル売上高  
■ 販売他売上高  
■ 営業損益

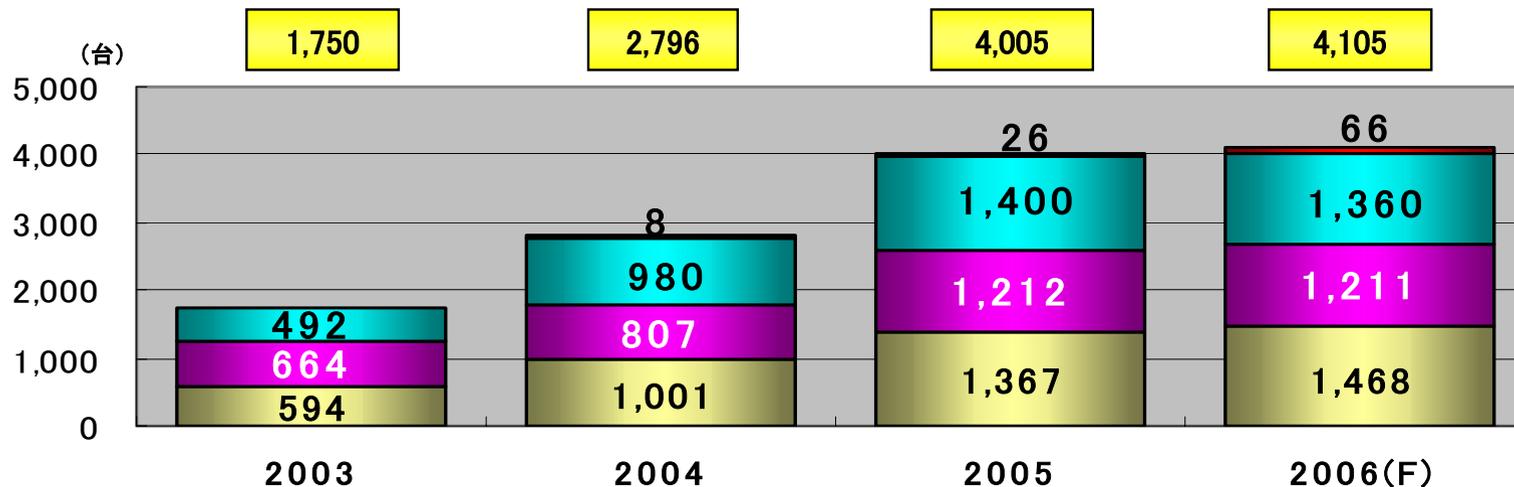
レンタル事業



超大型油圧ショベル(100t超) ※当社推定



リジッド・ダンプ(60t超) ※当社推定



■ 米州 ■ 欧阿・中東 ■ 豪亜 ■ 中国

## 電動式550tショベル開発

### ザンビア EQUINOX社(銅鉱山)向け受注

- 550t電動ショベル

EX5500E x 4台

EX5500ディーゼル x 1台

- トローリー式ACダンプ

EH4500 x 26台 他



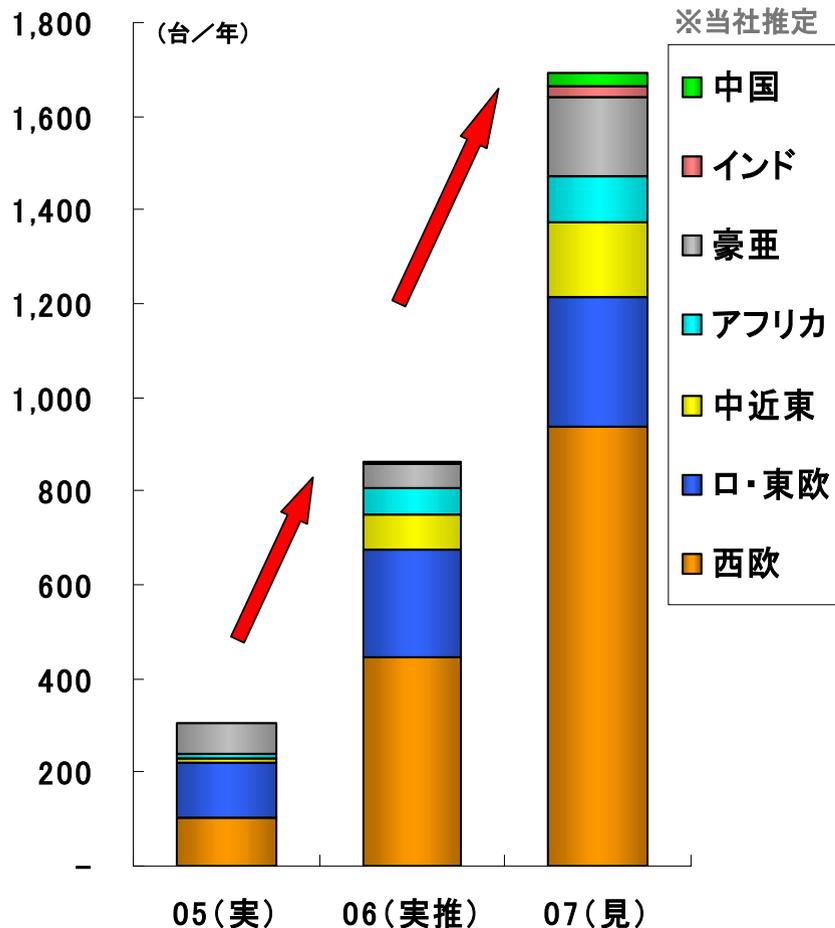
受注金額:  
計137百万ドル(160億円)

※07年2月～順次納入、～08年3月納入完了。

従来250t電動ショベルのみ実績、  
今回の550tに続き、360t・800tを  
開発しシリーズ化する。



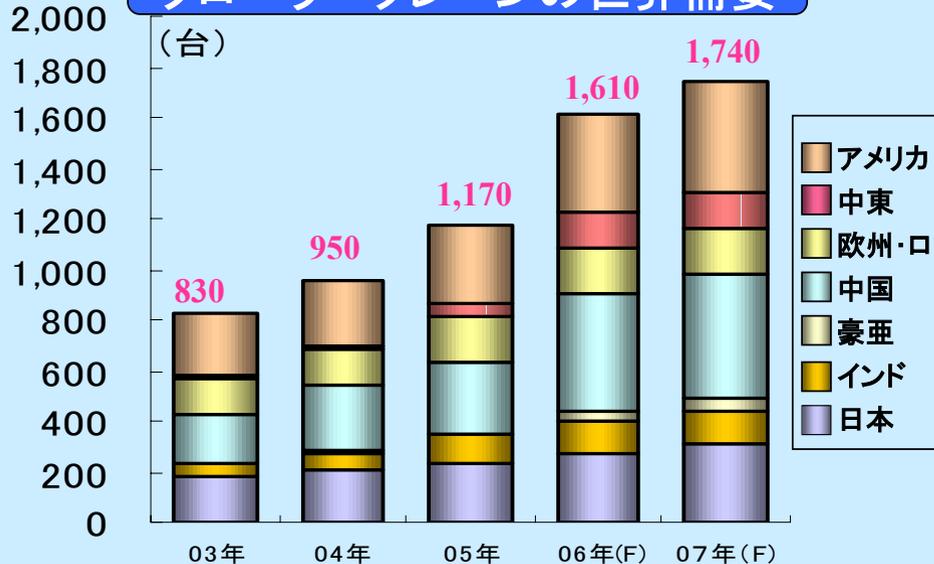
## 海外向 WL販売計画(含:ミニ)



### ZW機による売上の伸張

- 日本  
日立 + TCM = 30%シェア堅持
- 西欧  
07年には900台超の販売を見込む  
BAUMA展示会(4/23~29)  
⇒ Phase2モデルを出展予定
- 中国  
油田・港湾向にターゲットを絞った拡販
- インド  
現地産も視野に完成車導入
- 豪亜  
TCM代理店をサブディーラとして活用

## クローラークレーンの世界需要

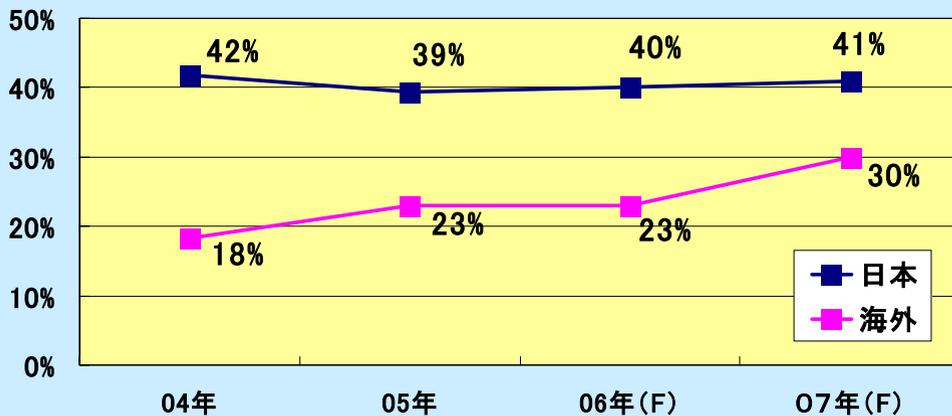


・HSCIによる推定値  
 ・ロシア、インドのメーカーによる生産台数は含まず(台数は不明だが数十台程度と推測される)

## 主な受注残案件 (06年12月時点)

内訳	(台)
日本	58
北米	83
インド	28
韓国	20
シンガポール	20
その他	38
合計	247

## HSCの販売シェア



**受注総額: 162億円**

END

\* 内容は一部要約しています。